

飛騨と信濃を結ぶ歴史街道へ

9時集合

行列参加者
野麦峠お助け小屋

1,000円

食事券付

貸衣装

要予約

第四十二回 野麦峠まつり

いま想う、
工女の想い

2025
5/25(日)

11時～14時
雨天中止

【共催】 飛騨高根野麦峠まつり実行委員会

【共催】 奈川野麦峠まつり実行委員会 【後援】 松本市・高山市

お申し込み・お問い合わせ

高根事務局 飛騨高根野麦峠実行委員会 ☎0577-59-3131 info@hidatakane.com

奈川事務局 (株)ふるさと奈川観光交流部 ☎0263-79-2125 kanko@furusatonagawa.com



↑ 詳細

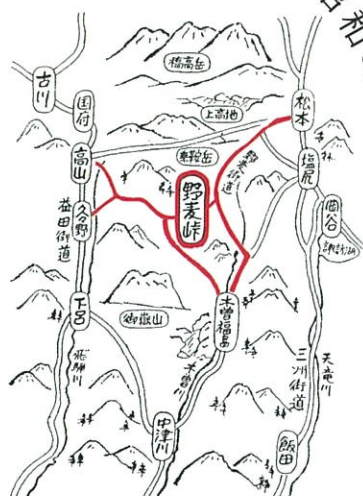
第43回

2025年5月25日

野麦峠まつり

～いま想う、工女の想い～

明治・大正・昭和の日本を走った当時の工女たちを偲び、歴史ある野麦峠を共に歩く



明治の初めから大正・昭和初期にかけて殖産興業の国策のもとで、当時の主力輸出産業であった生糸工業で大きく発展していた諏訪地方・岡谷へ、現金収入の乏しい飛騨の村々から大勢の女性たち(多くは13歳くらいの10代の少女)が、工女として出稼ぎのために野麦峠を越えていきました。

プログラム



工女行列

1.3kmの野麦古道を山越えする奈川側と合流して、工女を偲び、野麦峠を歩く



祇園囃子

寛政10年(1798)より奈川古宿地区に伝わる民俗芸能子安諏訪神社祭礼で奏でられている



糸引き工女の唄

かつて飛騨の娘達が働きながら故郷を想い歌っていた唄を飛騨高山出身の音楽家、中ムラサトコが紡ぐ



野麦イササ

高根町野麦地区に伝わる民俗芸能楽器は使わず、踊り手が交代で歌う唄だけ踊る。イササは笹の葉のこと

工女行列募集

← 35名先着順



女性 15名 | 男性 10名 参加費1,000円 食事券・貸衣装付

小学生以下 10名 参加費無料



午前9時 集合: 野麦峠お助け小屋 (現地集合・現地解散)



『参加者には肖像権使用に同意して頂きます。撮影した写真、映像が新聞テレビなどにより報道されたり、観光協会での広報などに使用させて頂く事がございます』



眠っている当時の衣装募集中!

お申し込み
お問い合わせ

// 飛騨高根野麦峠実行委員会事務局

飲食出店 [一例]

- 火焔そば (あじびかり蕎麦の会)
- 岩魚塩焼き 等 (野麦峠お助け小屋)
- 松茸ごはん 等 (飛騨おんたけ山荘)
- みだらし団子 等 (野麦学舎保存会)
- うど汁 (奈川野麦峠実行委員会)



0577-59-3131

(受付: 平日9時~17時)



info@hidatakane.com
www.hidatakayama.or.jp/hidatakane/